会 議 録

会 議 名	令和6年度 第1回「ひがしうら地域クラブ」推進協議会	
開 催 日 時	令和6年11月13日(水) 午後7時から午後9時まで	
開 催 場 所	はなのき会館 研修室	
出 席 者	委 員	二宮 立美 氏 (会長)、平野 俊之 氏 (副会長)、 坂部 博幸 氏、二村 圭史 氏、杉本 匡彌 氏、 行徳 真弓 氏、新美 佳三 氏、長坂 恒幸 氏、 浅田 潤一 氏
	事務局	長坂学校教育課長、瀬之口学校教育課主幹兼指導主 事、岩本学校教育課統括課長補佐兼指導主事、関生涯 学習課長、植田生涯学習課係長、杉浦スポーツ課長、 永井スポーツ課統括課長補佐、重野スポーツ課係長
議 題 (公開又は非公開の別)	<p>1 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県部活動の地域移行・地域連携協議会資料について ・令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業の委託契約について ・総合文化クラブについて <p>2 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 会員アンケート調査結果について (2) 2024年(令和6年度)前期の活動について (3) 2024年(令和6年度)後期以降の活動について 	
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)		
傍聴者の数	0名	
審 議 内 容 (概 要)	委員の出席及び会議の成立を確認 傍聴者の確認及び傍聴の許可 議題の審議内容等は、別紙のとおり	
備 考		

1 報告事項

事務局・・・	<p>資料1です。今年度、愛知県で行われた会議の資料です。そこでスポーツ庁の担当の方が直接地域クラブの方針や目指す姿等を示してくれた部分もあるので資料は膨大になります。関わる部分等をかいつまんで説明していきます。</p> <p>まず、2ページ目は少子化、今少子化についてのデータになっています。下はそれに伴って部活動に加入している中学生が減っているということを示しています。特に一番減っているのがサッカーや軟式野球、ソフトボール、ベースボール型が最も減ってきています。</p> <p>3ページ目です。それに伴って中学校における合同部活動の実施チームがどんどん増えています。学校単独で活動できなくなり、複数の学校で一つのチームとなって活動しているということです。それが特に、軟式野球やサッカーでとても増えてきています。報告ですが、東浦町の中学校も、この9月からの新チームで、軟式野球とサッカーは単独でチームを構成できない状況が発生してきたので、合同で部活動を行うという事が起こっています。</p> <p>続きまして9ページです。先行事例として長崎県の長与町が紹介されています。規模的には東浦町とかなり近い、町内3中学校で1077人です。9ページの一番下に記載されています。11ページを見ると、今日本の中で一番先進的に進んでいると思いますが、12種目21活動を行っています。活動の種類的には東浦町は10種目なので少し多いくらいですが、21活動ということで、同じ種目で複数の活動を行っているのが違うところです。参加者数が429名で指導者数が124名です。東浦町は参加者数は250名くらいなので、長与町がかなり多いです。指導者数は、東浦町は140名くらいなので少しこちらが多いくらいです。違うところとして11ページ下の表のところですが、運営団体となっているのが総合型スポーツクラブで会費は3000円取っています。東浦町の「ひがしうら地域クラブ」の会費は1000円です。今、県内でいろいろ動いているのですが、どこの市町もまだ実証状況で0円なので、愛知県の中で「ひがしうら地域クラブ」が最も会費が高い1000円となっていますが、県の担当者に聞くと、ゆくゆくはどの市町村も地域クラブを始めると、会費のボーダーは3000円になるのではないかと聞いています。この長与町も3000円ということで、およそこれくらいは取る必要があるのではないかと、という参考にもなります。</p>
--------	--

次は 16 ページです。紹介だけですが、県が主導して動いているところとして岐阜県、新潟県が紹介されています。

17 ページです。ここからは、まだ地域クラブを立ち上げていない市町村等に向けて、地域クラブの在り方等の方向性や目指す姿が示されました。18 ページの上を見て下さい。方向性・目指す姿ということで、地域クラブを立ち上げる場合はこういった方向性をもってください、ということで一番右上の四角で強調された部分です。「子供や大人、高齢者や障害者の参加・交流を推進する地域スポーツ活動の中に部活動を取り込む。ウェルビーイングの実現、まちづくりの推進。」という事で、地域クラブは部活動を継承する必要性もありますが、新しい価値を創出していく役割を担っているということを意識するよという事を言われました。「ひがしうら地域クラブ」は親しむよいうことを主の目的としています。今は中学生だけを対象としていますが、例えば明日から高齢者も一緒に活動しなさい、と言われても対応できる体制はとっているよので、この方針はカバーできているよと思っています。

その下のところの改革推進期間、令和 8 年のところが強調されて四角になっています。国から令和 8 年以降の方針がはっきり出されていないよですが、今年の 9 月から検討を始めました、よいうことを聞きました。

次が 21 ページ、こちらも地域クラブを立ち上げるにあたって、よいうことを理解したようで体制をつくっていきなさい、よいうことが言われた部分です。生徒のニーズに応じた多様で豊かな活動をよいうことで、22 ページの下のところですよ。国が子供たちに調査した結果、魅力のある部活動よいう項目で一番多かったのが、下の表の中の②番の「スワップできる部活動」だったようですよ。2 つの種目を行き来できる部活動とあるように、楽しみたい子も本気でやりたい子もそれぞれ活動できたりとか、いろんな種目を体験できたりとか、たくさんやりたい子はたくさん活動ができ、少なくてもいい子は少なくできるよいうようなスワップができる活動に魅力があるよいうことを知っておきなさい、よいう説明がありました。

「ひがしうら地域クラブ」も、どのクラブにも自由に参加できる体制をとっていますし、後ほど議題にありますよが、ニーズや条件が揃えば競技力向上についても行うよとしていますよので、ここもカバーできているよと思っています。

次に、23 ページ、24 ページですよ。23 ページ下 45 番、24 ページ上 46 番の資料ですよが、これも知っておきなさいよいうことで、児童生徒が希望する活動日よ子供たちに国が調査した結果、週 3・4 日以上希望している生徒は 27% (3 日) +16% (4 日) で、全部で 43% でした。

<p>事務局・・・</p>	<p>24 ページの上の資料ですが、休日に部活動がなくなった場合は休みたいと言っている生徒は 53% います。そういうことを把握して、強制的に参加せざるをえないような体制にしない事を気を付けて下さい、という説明がありました。</p> <p>「ひがしうら地域クラブ」も事前の出欠は取らない体制で、参加者数を見ると、部活動をやっている子で「ひがしうら地域クラブ」に参加してる子は 35% から 30% です。さらに東浦町は地域クラブだけではなくて、地域の団体も aispo!Do! で情報を集約して子供たちに一緒に提供しているので、aispo!Do! に登録しているクラブチームにそれぞれどれだけ参加しているか把握はできないのですが、聞いている感じだと多く参加しているので、合わせると国が出している 47% くらいか同程度の数字になると思うので、そう言った面でもここでも対応ができていると考えています。</p> <p>最後です。32 ページ、こういった国の方の方針だとか、情報はポータルサイトを国が作成していますのでここから確認できます、という情報提供がありました。</p> <p>今まで具体的に地域クラブの在り方、こういう風に下さいというものはなく初めて示されましたが、私の個人的な意見ですが、およそカバーできているのではないかと思います。それも、先ほど会長から話もありましたが、令和 4 年からずっと委員の皆様と検討してきて、本当に国の方針を読み込んでこの体制をつくってきたおかげで、先行的に始めている今でも、国の方針からずれずにやってこれたのかなと思っています。誠に感謝申し上げます。資料 1 については以上です。</p> <p>続いて資料 2 です。35 ページをご覧ください。先ほど 17 ページの中で少し触れたのですが、助成金についてです。国の方から地域クラブの立ち上げに伴って実証事業で補助金を出します、という案内が来ました。スポーツはスポーツ庁から、文化に関しては文化庁から似たような案内が来たので両方とも手を挙げました。この度、スポーツも文化も採択を受けまして補助金が得られるようになりました。全くスポーツと文化は予算が違うものですから、文化に関しては 90 万円程で、ほとんどが指導者の報酬に充当する分だったのですが、スポーツに関しては、思ったほど実証事業に手を挙げたところが少なかったようで、今 500 万円ほど補助金を頂ける予定になっています。指導者の報酬や今まで持っていなかった消耗品に充てていきたいと思います。この補助金は来年度まで確実にあることが分かっていますが、来年度にはまた手を挙げる市町が増えるので、今年度ほどはもらえないと思います。来年度は多分、指導者の報酬の分ほどしかもらえないと思いますが、今までの部活動のしくみ等にある程度寄り添う部分も</p>
---------------	--

	<p>必要だと思うので、この補助金を使って競技力向上を目指す活動などにも取り組んで活動の幅を拡げていきたいと考えています。それを後から協議の中で話していきたいと思います。</p> <p>資料2については以上です。</p> <p>資料3「ひがしうら地域クラブ」の総合文化クラブについてです。こちらは生涯学習課から説明します。</p>
事務局・・・	<p>今まで東浦町の「ひがしうら地域クラブ」では、文化系の活動が吹奏楽のみになっていたこともありまして、他の文化系のクラブについても選べるというね、ということで今年度10月から文化協会に指導者の方をお願いして開始をしたものです。</p> <p>先ほど、事務局から「ひがしうら地域クラブ」は事前の参加申し込み不要という特徴を挙げていましたが、総合文化クラブの方は材料や道具の用意が必要であるので、事前に参加申請をして頂く形で始めています。10月から開始をして、月ごとにいろいろな活動が体験できるような形で現在運用していますが、10月は書道、今月11月が囲碁、来月12月は絵画、年明け1月が囲碁、2月が茶華道、3月が絵画という予定で半年間組んでいます。10月の書道は参加頂いたのが3名で、今のところ今月の囲碁は参加者が無い状況で、なかなか参加者が集まっていないというのが現状としてあります。生涯学習課としても、学校の昼休みに放送をしてPRを進めているのですが、今後も周知を続けていきたいと考えています。</p> <p>現状、始まって1か月ほどですが状況としては以上になります。</p>
事務局・・・	<p>以上、報告事項となります。よろしく申し上げます。</p>
会長・・・	<p>それではご質問やご意見がありましたらお願いします。</p> <p>まず資料1に関して区切っていきます。</p> <p>この少子化の人数とグラフは逆で不登校の子は右肩上がりです。</p> <p>先進地の事例は長崎県の例が出ていましたが、ほぼうちがやっているような方向性をとらえています。ただ、法人化しているところが違い、謝金を出すには必ず法人化した方が良く、いつまでも行政に任せておく訳にはいけないと思います。財団法人か社団法人またはそういうNPOにもっていく方向もこれから考えていけないと思っています。</p>
委員・・・	<p>資料の1には長与町の例が出ていました。説明のとおり規模的には一緒だなと思いますが、参加費の月額3000円に驚いたのですが、保護者のアンケートを見ると月3000円でも割と好意的な意見だな、意外だなと思</p>

	<p>ました。例えば今言えないかも分からないですが、スタートした時はひがしうらも月 500 円、今 1000 円、倍ですよ。これで先ほど事務局がいくら上がって行って 3000 円くらいが落ち着く先かなという話があったのですが、私は 500 円が 1000 円でもびっくりしましたが、例えば来年度、再来年度に、まだまだ上がっていく可能性がある話なのではないでしょうか。</p>
事務局・・・	<p>現時点でまだどうなるのかは申し上げられませんが、やみくもに上げるということは町の方でも考えていません。ただ町の予算を抑えるためには先ほど国の委託金等を受けたとありますが、そういったものに積極的に手を挙げることで、全体の参加料を抑えるということを今重視しています。まずは積極的に手を挙げて財源の確保に努めていくのですが、これもいつまでも続かないという報告も聞いていますので、そういったものがなくても続けていくため、ある程度の上昇は必要かと思っています。</p>
委員・・・	<p>長与町でもおそらく参加費というのは指導者の活動費、報酬にだいたい充てられるような価格設定になっていると思うのですが、先ほど今年意外と補助金がつきましたということがあり、補助金は先々ほかに参加するところが増えてくればあてにならないお金とのことですが、例えば今年に関しては収支的には完全に黒字ということでしょうか。</p>
事務局・・・	<p>まだこの事業が終了していないので、黒字になると申し上げられないのですが、今 1000 円という額については概ね適当な額だと思っています。</p>
事務局・・・	<p>この補助金ですが、500 万円まであげますよということで、先に 500 万円もらえるのではなく使った分だけ後からもらえるものですので、黒字になることはないです。</p>
委員・・・	<p>使わないとももらえないのですか。</p>
事務局・・・	<p>そうです。私たちが負担した分の中からももらえるものです。</p>
委員・・・	<p>でも、最大限もらえるように努力するということですよ。</p>
事務局・・・	<p>はい、もちろんです。</p>
会長・・・	<p>全市町村が地域クラブのような活動を始めたら、いずれにしても限りなく補助金は 0 になると思われれます。だから一律にいくらというのもくれな</p>

	<p>い。総合型地域スポーツクラブも、文科省とスポーツ庁が先導してやって30年以上経つわけですけど、限りなく0です。毎年、例えば100万円もらった、次の年は必ず50万円、その次は25万円、0円。1000万円もらっても同じです。その間3年なら3年で会費を上げてきちっとやりなさいよ、というのが国の方針です。いつまでも出さない。そのあたりはきっと踏襲されると思います。</p> <p>それでは次に、資料2について質問等がありますか。</p>
委員・・・	<p>31ページの「地域おこし協力隊」というのは東浦町にもあるのでしょうか。</p>
事務局・・・	<p>現在のところはないです。</p>
委員・・・	<p>できる兆しも聞いてないですか。</p>
事務局・・・	<p>今のところは聞いていません。「地域おこし協力隊」という制度は、3大都市圏とかある程度都市圏の自治体では受け入れられなくて、過疎が進んでいるところにこういった若い方が行って地域を活性化する制度ですので、愛知県の自治体、東浦町だと受け入れることが出来ない、ということでは理解しています。</p>
会長・・・	<p>それでは資料3について質問等がありますか。</p>
委員・・・	<p>10月から総合文化クラブというのをスタートしました。今まで文化系は吹奏楽だけだったので、私も最初からこの会に参加していますが、スポーツがメインでしたのでほぼ聞くだけの参加であったのですが、やっといろいろな実態が分かって来ました。この総合文化クラブというのが文化協会にとって、どちらかと言うと体験型になっています。継続的にやるというよりも、月替わりの講座ですので何かやってみたよ、こういうことを体験したよ、で止まってしまう現状があります。</p> <p>それからスポーツの場合だと、平日からの部活動の継続で来られている方が多いと思うのですが、文化活動ですと、どちらかと言うと新規の事業の開拓だと思ったのです。新たにこういう事をやりたいのだけど、やっとできたかなと。ただ、説明の中にもありましたが、11月の囲碁はまだ申し込みが0です。書道の方も実施はできたのですが、非常に少なかったです。書道でたまたまやりたいという生徒がいたのですが、申し込めたかな</p>

	<p>と思ったらなかなか手こずっていました。いろいろ最終的にはスポーツ課にお世話になってやっと登録ができた、なかなか新規の人の Sgrum の登録が難しいのだと思われます。これは何ともならない話だと思うのですが、そこでやめてしまう人がひょっとしているのではないかと思います。例えばこう言った地域クラブというのは、指導者も有償でやらしてもらっているのですが、学校の先生にとってみれば有償の活動だから地域クラブのことを PR しない、しにくいとか、何かそういったような制約というものはあるのでしょうか。昼休みに校内放送で生徒に呼び掛けて、こういう内容が今開設されていますよということをお知らせして頂いているのですが、例えば生徒が担任の先生に地域クラブのことで知りたいとか、Sgrum のことを聞こうと思っても、先生としては全く手を出しづらい内容なのか、そこだけお聞きできたらと思ったのですが、どうでしょうか。</p>
委員・・・	<p>学校に来てもらって、放送でもしゃべってもらおうということは許可しましたが、登録を学校でどうのこうのというのはやらないです。</p>
委員・・・	<p>はい、分かりました。</p>
委員・・・	<p>総合文化クラブは、4月以降どうなっているのかと周りから言われています。ぶちぶちとなっているから聞きたいです。</p>
委員・・・	<p>そういう話は聞きました。4回で終わってしまいますから。でも、それは私たちにはどうにもできないです。今の形はあくまでも仕方ないかなと思います。この6か月間の中でも月替わりで講座が変わっていきます。これも極端なことをいうと、生徒の需要に合わせて講座を選択した訳ではなくて講師の方がいるものを開設しています。だから私も半信半疑の部分もあったのですが、需要があるかも知れないし、ということでプログラムしたのですが、私自身もなかなか生徒が集まりにくいのかなと感じています。そうすると来年度以降については、やはり需要のある講座で組み立てていかないといけないという気はするのですが、そもそも文化講座というのはどちらかと言うと、土曜日だとか休日にわざわざやらなくてもいいのではないかと思います。平日の授業が終わった後に、今ある平日のクラブ活動のように、そこに指導登録をした指導者が行って例えば週に1回だとか月1回だとか、そこで指導することでも文化活動に関してはいいのかなと思いつつ、ただ今のしくみの中ではそういった最終的に落ち着く先というのはイメージしているんですけど、直ぐには難しいのだろうなと。だから、しばらくは休日と限定される期間については、今のような形で、でき</p>

	<p>るだけ生徒が参加しやすいような講座を提供していくということになると思うのですが。将来の行きつく先というのまだ議論は早いですが、どう思われます。そこだけ、まだこれからですので今そういう事を議論する場でないと言われるか、どちらかだけでもYesかNoかだけでもいいのですが。</p>
事務局・・・	<p>資料3にもあるとおり、役所は年度でいろいろな行事・事業を進めていくので、とりあえず3月までを指導者が準備できた4種目を月毎に月替わりで設定しています。こちらは1種目に限定するのではなくて、ここにも書いてあるとおり様々な文化ジャンルがあるので、そういったものに触れて頂いて、その中で自分にあったもの、生涯続けて行けるような種目に出会って頂ければ、それはそれで中学生のお子さんにとってはすごく有意義なことと思っていますので、今は種目を月毎にということで設定しています。4月以降の計画はこれからですが、今は月替わりの種目、指導者が準備できている種目をやっていきたいと考えています。</p>
委員・・・	<p>後の協議事項に出てくるかもしれませんが、今年度後半で1講座（総合文化）が加わりましたが、来年度地域クラブは増える予定はあるのでしょうか、それとも全く未定でしょうか。今の数を7年度も維持するのか、いくつか候補があって拡大するのかどうなのでしょう。文化系については例えば2つとか3つ増とか示されれば、それに参加できるかなという気持ちはあるのですが、来年度以降も1講座なのか、どうなのでしょう。</p>
事務局・・・	<p>現時点では来年度は何クラブとはお答えできる段階でないですが、今までも準備できたものからとしていましたが、闇雲に増やせば増やすほど費用が掛かってしまうことも分かってきている状況がありますので、最初に親しむものから始めて、今は競技力の向上というところもニーズが高まっていることもありますので、そういった活動を踏まえながら数を増やすという方針よりもニーズを踏まえた活動にシフトしていきたいなと考えてもっています。</p>
委員・・・	<p>ありがとうございます。</p> <p>これは将来を検討しているが、はっきりしていないという趣旨だったと思うのですが、例えば書道で人が集まれば地域クラブ書道というようなものに発展させていくという発想でいいのでしょうか。そういう構想の基にとりあえず始めてみたということなのでしょう。</p>

事務局・・・	今の段階で1種目をクラブとして立ち上げる予定はないのですが、こういった形で月替わりでやっていく中で、参加者が増えてくるようなことがあれば1つのクラブとしての立ち上げというのも可能ではないかと考えています。
会長・・・	なかなか難しい問題です。まだスタートしたばかりですので。
委員・・・	4月から例えば書道をずっとやるとか囲碁をずっとやるとか絵画をずっとやるとか、その方が子供が来やすいと思うのですが、そうやらないとかやれない理由があるのですか。絵を4月にやった子が5月にやれないというのはどうかなと思うのですが、理由があるなら教えてください。そういう話が出ているので。
事務局・・・	総合文化クラブとしては、総合文化という名前のおり、いろいろなことに触れてもらいたい、というのが今の趣旨としてやっていますので、その中で、例えば絵画に興味をもって続けたいということであれば、町内には絵画のサークルが文化協会の中にはたくさんありますので、そういうところで続けて頂くとか、そういった選択肢もあるのかなと考えています。
委員・・・	そんなふうに話せばよいでしょうか、聞かれたときは。興味をもったら自分で他のところを見つけていく、というような方針ということで。
事務局・・・	きっかけに総合文化を使って頂ければいいと思っています。
委員・・・	講師の方もそれを了承してやっているのですか
委員・・・	私もそのとおりだと思います。体験型ですから、やってみて続けたいということであれば、文化協会の中にも普段から活動がありますので、そこで参加してもらえればありがたいと、そういった狙いも側面としてあると思います。
会長・・・	だいたい方針的にはそんな形での発展ですね。理想形だと思います。文科省の方もきっとそれを狙っていると思います。これの先進事例は紹介されていますか。
事務局・・・	文化系は吹奏楽しかありません。

委員・・・	スポーツは先進で2歩くらい先を行っていますので、是非来年度は（文化も）1歩、2歩、今の方針をきちっと打ち出せば体系化できるだろうと思います。
委員・・・	事務局が言われた文化にコンピュータの種目はないのですが、コンピュータの地域クラブができれば人気が出るのではないかと。私も年代的に離れているので、今の中学生の考えはわかりませんが、時代の先端に行く講座になるのではないかと思います。
委員・・・	絶対人気があると思います。大府はeスポーツの拠点ができています。だから太鼓の達人で優勝した人がいると新聞・テレビに出ていました。そういう形の拠点があれば、一つのクラブになっていくのだろうと思います。
事務局・・・	先行研究事例と継続した活動と、その中に体験的なものをやる事例もあるので、総合文化は先に言ったように他の活動と色合いの違った部分もあるので、勧誘の仕方とかまだ考える必要があるところもあると思うので、今後検討していきたいと思います。

2 協議事項

会長・・・	協議事項の（1）会員アンケート調査結果についてお願いします。
事務局・・・	<p>37 ページです。過去の協議会でも会員のアンケート調査をお見せして来ました。地域クラブを1年やって、これで3回目のアンケートです。</p> <p>今回初めて Sgrum アプリを使って会員のアンケートを行いました。今後も前期が終わったタイミングと、後期が終わったタイミングで取って、年2回くらいは会員の声を直接聞けるようなスタイルを続けていきたいと思っています。</p> <p>今回は3回目でもあるので今までと違ったところは、1年生が回答で多めだったこと、男の子が多めだったことです。</p> <p>後の部分は似ていますが、新しく入れた部分として39 ページで先程も言ったこれから競技力向上を目指した活動もやっていこうと思うので、それについての意識調査も行いました、39 ページ（7）です。その結果を見ると、項目としては「参加料を値上げしてでも拡充してほしい」「値上げしない範囲で拡充してほしい」「現状維持」「競技力向上の目的は必要ない」「その他」で今回は問いましたが、一番多かったのが「参加料を値上げしない範囲で拡充してほしい」、誰も参加料を値上げすることは望</p>

んでいないと思うので、ここが多くなるのは分かるのですが、二番目に多かったのが「現状維持」、今の活動のままで良いという人が「値上げしてでも拡充してほしい」人より多かったです。私たちも今、ニーズが増えて来ているというのも実感しているので、そういった活動も取り入れていきたいと思っていますが、ニーズとずれないようにこういう調査はアンケートでも定期的に取りながらいきたいと思います。後ほどまた説明がありますが、部活動も来年度以降動きが変わってくるので、そうするとここの結果も変わってくると思うので、常にアンケート等を取りながら進めていきたいと思っています。

次、(8)の指導者について(9)の活動内容についてです。

ここに出てきた内容については、各クラブの代表者に集まってもらった代表者会で情報提供・検討等をさせて頂いています。

特に、指導者と活動内容については見て頂いたとおり、匿名のアンケートなのですが、よい点と気になる点でよい点が多く挙げて頂いていると、匿名なので基本的に要望が多くなるのが結構多いと思うのですが、よい点の方を多く挙げてもらっているというのは、指導者が子供たちに寄り添って丁寧に日頃指導して頂いているおかげだと、私は考えています。

また、指導者の気になる点についても、バスケットボールで一番上に書いてある「先生ではないのではないのですが・・・」という内容ですね。こういった情報を提供して、即日バスケットボールの方では、子供たちにこういったことを大切にしていこうという時間を取って頂いて、特にマナーは片づけが良くない、一部の子が片づけをやらないということだったのですが、皆で片づけるようにと即日対応して頂いています。

活動内容についての気になる点のハンドボールでも、「少し休憩時間を増やしてほしい」を生かして、活動の休憩時間を変更しています。子供たちに聞いても「ちゃんと休憩時間が増えた」と言ってくれているので、即日対応頂いています。

次に41ページ、42ページで、活動環境について「ひがしうら地域クラブ」について自由にご記入くださいというものです。

いろいろ出ていますが、特に皆さんにご意見頂けたらという部分で言いますと、(11)の環境についてのよい点、真ん中あたりの軟式野球で「熱中症警戒アラートが出たら中止になるなど安全に気をつけてくれるので安心」という意見もありつつ、他の部分で特に(12)の最後で、今年は異常な猛暑で活動が難しかったところがあります。私たちも方針を決めて行ったのですが、そこについて、今回想定した中で一番起

	<p>こってほしくないなという状態、1回だけ活動ができてしまったことがあったので、これについては、来年度に向けてご意見頂けたらと思うので、後から提案させていただきます。</p> <p>アンケートについては以上です。</p>
会長・・・	<p>何かご質問ありますか。</p>
委員・・・	<p>アンケートは生徒＝中学生が答えるのか、親が答えるのか、両方なのか。</p>
事務局・・・	<p>両方です。子供に聞いて答えている方もいますし、親御さんが答えている方もいますし、子供が直接答えている場合もあります。Sgrum アプリというのは主アカウントと副アカウントが作れて、例えば親が主アカウントで子供が副アカウントになっていることが結構あるのですが、今回アンケートは主と副両方に出しています。</p>
会長・・・	<p>熱中症については後で出てきますね。来年はもっと高くなる、もっと温暖化になってくると思われます。</p> <p>次の議題に移ります。2024 年前期の活動について、熱中症の対応についてです。</p>
事務局・・・	<p>43 ページです。</p> <p>1としてクラブ種類と指導者数、今現在のものを載せています。</p> <p>2は、活動日数と参加者数という事で9月末現在3年生が抜けて224名、今年の最大会員数は248名、去年は185名が最高だったので、少し伸びています。その下に各クラブの活動日数と延べの参加者数を一覧にさせて頂いています。各クラブの活動回数は、年間40回程度で予算もついていますので、かなり多くできているところと少ないところがあります。多くできているところは調整しながら行って、特にサッカーなどは雨の影響も受けてしまい、今年は日曜日の雨が多くて少なくなっていますが、去年で言うところ、一番多いところで後期は26回やれているので、それで補充して40回に近づけるようにしたいと思います。</p> <p>最初サッカーは雨が降っていたらやめていたのですが、子供たちに聞くと「雨でも来ます」ということで、少しの雨でも来てくれることが分かったので、これからは東中のグラウンドに迷惑を掛けない程度で開いていきたいと思っています。</p>

	<p>3番の夏季（熱中症対応）についてというところで、まず見て頂きたいのが、今年度の方針で別紙1の赤い紙になります。これは3月の協議会でも方針を出させて頂いたので復習になるのですが、今年度の熱中症の対応で、まず一番上の●で安全を最優先し「熱中症警戒アラート発令又は熱中症特別警戒アラート発令」の場合は、全クラブの活動を中止にしました。また2個目の●で各活動場所においても各クラブで熱中症を測る器械を準備してWBGTという熱中症指数を測っていましたが、31を超える場合は予定より活動を早く終えるなど対応をしていました。実際に2時間で終わったこともありました。とぼして一番下のところです。気象等により全クラブが月に1度も活動できなかった場合は、参加料を徴収しません。また、現金でも徴収している場合は返しますよというルールで行いました。ひがしうら地域クラブは、クラブごとの会員というものはなく全クラブで一つの会員なので、全クラブができなかった場合に徴収しませんというふうになりました。その裏を見て頂くと、アラートの運用が始まった2021年から4年間のアラートの発令数等をまとめているのですが、今年が一番右の2024年です。8月が1週だけできてしまっている、これは一番想定の中ではうれしくない結果が出てしまいました。先のアンケートでも「1回しか出来なかったのにお金を取られるのはどうか」がありました。「その分補充してくれるのか」というのは、年間40回なので、月3回程度が基本なのですが4回やる月、5回やる月で補充して行って40回は行くと思うのですが、1回だけで千円取っているところで不満の声が出ているところ、これをどうしていくかが悩みです。今年この方針にしたのは、見てのとおり、例えば2022年はアラートが出たのが土日で1回だけだったのです。2023年も確かに8月はたくさん出たのですが、全体とすると37%しかアラートが出ていませんでしたので、それがずれば半分くらい活動ができてしまう可能性があったものですから、半分くらいできるんだったら絶対子供や親御さんはやりたいと言うだろうなと思って、アラートという基準で安全を確保しながら、やれる時はやろうという今年の方針にしたのですが、結果的に1回だけという1番苦しい結果になってしまったというところでどうしましようかということです。元の資料43ページに戻って頂いて、活動回数を確保するという面で、アラートで判断するのではなく現場でWBGTの指数計で31を測ってやればいいのかという考えもあるのは分かるのですが、やはり現場の判断、現場で測ると現場の指導者の判断だけになってしまうので、私たちとしては検討事項の案1として、来年度も指導者の判断・責任のみにならないように、引き続き事務局が判断する基準は設定したいと考えています。つまり今年と同じような設定です。中には</p>
--	--

<p>委員・・・</p>	<p>今年できた「熱中症特別警戒アラート」にすればという案もあると思うのですが、この特別警戒アラートが出される状況に今まで1回もなかったことがないですし、今までに1回も出たことがなく、それを基準にするのはどうかと思うので、来年度も警戒アラートで中止というのは継続したいと思っています。一番下の地域クラブ代表者会議での意見というところで、代表者の方々に聞いても、事務局が基準を設定してくれているので指導者も会員も安心して活動できる、という声は頂いています。特に、昨年山形県で部活動の帰りに中学一年生の女子が亡くなってしまったこともあり、そこから文科省と気象庁の方でも、あらためて活動する場だけを注意するのではなく、行き帰りも配慮できるように主催者は考えなさい、そして開催の判断には熱中症警戒アラートとWBGTの両方を使いなさいと強調して通知されましたので、そこも含めてアラートでの中止は設定していきたいと思っています。ただし、地域クラブの代表者会での意見で、アラートだと判断が前日とか当日になってしまうので会員にとっても予定が立てづらい、指導者も急になくなるということでなかなか大学生など若い世代が指導しにくいということも聞きました。よって、案の2のところ、4月～5月に発表される気象庁の長期予報を見ながら、来年も今年みたいな猛暑が予想されるなら8月を予め中止にする、という項目も加えることを考えています。下にメリット、デメリットを書きました。メリットとしては、会員や指導者にとって予定が立てやすくなる、今年のように少ない開催日数で参加料を徴収しなくて済むと考えています。デメリットとしては、夏休み中の子供に余裕ある時に活動できないことで、魅力が半減するかもしれないことと、今年も恐れていたことですが、年によってはアラートがほとんど出なくて半分以上できてしまった時にやりたかったというのがあるので、そこが懸念点です。皆さんにご意見を頂きたいと思いますので、よろしく願います。</p> <p>中学校の話をする、熱中症警戒アラートはすぐ出るから、それで判断していたら活動はできない。毎日現場の人間が判断しながらやっています。そうすると今年は結構できました。午前中の8時から実際やっているのですが、学校はそうやっています。それから先ほど登下校の話も言われましたが、吹奏楽はエアコンが効いているからやればよいと思います。登下校については親が判断すべきと思うので、そこを文科省はあのように言うのですが、とても冷たい言い方ですが、登下校は親の管理下ですので、そこで判断してもらえない。じゃないと7月は結構暑いので、学校にも来れませんので。それとは違うのだから</p>
--------------	--

	<p>ど、折角エアコンが入っているのでやればいいのか、早く体育館にエアコンが入らないかなとか、東中は入らないのですが、来年度も警戒アラートで止めたら8月は活動できないのだろうなど。どこまで誰が何やるか、現場の指導者の責任にはならないと思うから、きちんと測ってやればいいのかと思います。あれは数字で見られますので、それを判断するのが嫌だというならそこまでなのですけど。エアコンが入っている吹奏楽はやればいいのかと思っています。</p>
会長・・・	<p>そこら辺も判断材料ですね。</p>
事務局・・・	<p>そうですね。そこは絶対にそういう意見もあると思いますが、やはり教育委員会が運営をしていますので、親の責任だからと子どもたちの安全性を考えないというのはなかなかできないですね。その辺のバランスを見ながら考えていきたいと思っています。ご意見ありがとうございます。</p>
委員・・・	<p>これは、今後どうやって決まっていくのですか。</p>
事務局・・・	<p>教育委員会で審議して決めていきたいと思っています。</p>
会長・・・	<p>計測する機器は、指導者は皆持っているのですか。</p>
事務局・・・	<p>はい、学校に設置してあるものを活用しているところもありますが、ないところを準備して持っています。</p>
委員・・・	<p>現場からの話をさせてもらいます。計測機器は鍵を取りに行ったときに体育館から借りています。それをどこかに引っ掛けて下さい、という話でもらっています。先ほど委員が言われたアラートに引っ張られるとできないよというのはもっともです。ただ、指導者も固定してない部分があるので判断が難しいかなと、サッカーの場合は長がいるのですが、その方が必ずしも毎週来ている訳ではないから、というところで誰が判断するのか、ブレる場合もあるので今のスタンスでいいのかと思います。ただ、時間を早めるとか、今9時～12時の時間帯を8時～11時とか8時～10時に短縮するとかという検討も必要かなと思います。私は熱中症は個人の責任だと思っているのです。睡眠・食事・生活のリズム等からの部分が多いと思っています。もう一つは水分補給をどう摂っているかが関わってくるので、個人の責任も大きく関わってくると思っていま</p>

	<p>す。若い人もサッカーの指導に関わっていますが、やはり予定を開けていて、当日の朝にないとなると空いてしまう、バイト入れておけば良かったとかの話も出るので、その辺は検討のひとつかな、やるやらないの判断を誰がやるのか。やる判断をこちらに任せてもらうのなら時間を早めていいのか、サマータイムというような形でもやれるのかどうか、というも検討の一つで考えて頂いてもいいのかなと思います。</p>
事務局・・・	<p>時間をずらすというのももちろん検討していたのですが、今年はバスで来ている子もいるので、その子たちが参加できる環境も確保しなければいけないということを考えての方針だったのですが、それも考えて行きたいです。今年だと10時でも38℃とかだったので、朝早めても帰りが危険な時間になってしまうので難しさはあるのですが、考えていきたいと思います。</p>
委員・・・	<p>文化は分けて考えてもらうといいかな。</p>
事務局・・・	<p>そうですね。そこも、もちろんそういう考えもあると思いますので。</p>
委員・・・	<p>費用は一律になっているのですよね、文化もスポーツも。</p>
事務局・・・	<p>はい、そうです。</p>
委員・・・	<p>だから差が出てくるということを心配してみえるのですよね。</p>
事務局・・・	<p>吹奏楽でも活動中は冷房が効いていても、帰りに体調を崩すことが多いと言われています。そこを保護者の責任と割り切ってしまうのかもしれませんが、我々は教育委員会でやっていますので、そこも含めて考えていくと、吹奏楽は冷房があると言っても例外ではないという判断で、今年はやっています。</p>
会長・・・	<p>バスは7時台にもあるでしょう、7時台、8時台は結構多いのでは。</p>
委員・・・	<p>バスの時間は早いのはなくなりましたよね。あれは何でなんですか。お年寄りの方が結構困っていて、それどこに言えばいいのですか。</p>
事務局・・・	<p>担当しているのはまちづくり課です。</p>

委員・・・	先ほど早めるとなった時に、早い時間のバスがないと困りますよね。
事務局・・・	<p>公共バスうららについては、まちづくり課が所管してダイヤの改正等検討しています。ただ、まちづくり課単独でダイヤを決めたわけではなく、別に公共交通会議という会議体があり、そこにいろいろな団体とか関係者が集まり、実際にこの時間のバスには何人乗っているかというデータも見て、当然利用率の低いところは間引きされます。代わりにより乗るところにシフトする、ということで、人件費の高騰もありますので、ダイヤ改正は行われています。</p>
会長・・・	それでは次の後期以降の活動についてお願いします。
事務局・・・	<p>続いて44ページです。資料6になります。</p> <p>後期以降の活動として、まず前提として先ほどお話したのですが、今地域クラブを1年やって、競技力向上のニーズもあるのを感じたのですが、それにプラスして1番の令和7年度夏の大会・コンクール終了後の部活動の方針ということで、校長先生から頂いた資料を載せさせていただきました。今の1年生の代になってからは、学校の部活動は平日の火・水・金の週3日間の活動で、休業日＝土・日・祝日等は大会参加を含めて活動しない。ただし、3年生（現在の1年生が3年生になった時）の夏の大会・コンクールのみ学校として出場することができる、という方針を、学校の方で5月のPTA総会で話をされたと聞いています。</p> <p>今の地域クラブの様子を見ていると、競技力向上をやりたいなという声もありますし、今後このようになってくると考えると、競技力向上を目指したような活動も取り入れていけるといいなと思っています。先ほど言ったように実証事業で採択を受けましたので、予算の拡充をしました。今後、試験的にどんどん取り入れて行って、どこまで地域クラブができるか幅を拡げていきたいなと思っています。ただし、国の方針からずれていっては意味がないので、そういうのを守るために方針の案をまとめました。皆さんのご意見を頂けたらと思います。</p> <p>下の括弧の中です。①の指導者の報酬です。原則と書いてあります。今は親しむ活動として時給1,600円×3時間×3名お支払いをしています。ここにプラス競技力向上を目指す活動を行う場合は、同じだけお支払いをできるようにしていきたいと思っています。下の米印のところですが、競技力向上を目指す活動とは何なのだろうかということで、基本は練習試合や大会など相手がいる活動としたいと思っています。「親しむ活動」のみを行う場合は従来どおりです。つまり今までと同じ活動をしていて指導</p>

者が6人来たから6人全員払って良いということではありません。別に競技力向上を目指す活動を行うときは拡充します、ということです。原則と付けているところの3つ目ですが、いろいろ種目により、例えば大会に向けてチーム練習をしたいという場合があると思います。全員ではなく参加する大会に出る子たちだけでフォーメーションのためにやる必要がある場合もあると思います。そして、競技力向上で3名までと書いてあるのですが、男女2チームを引率しなければいけない、また指導者自身が大会を主催する場合などいろいろなパターンが出てくると思うので、この条件に当てはまらない場合も都度相談しながら進んめていきたいと考えています。

二番目②です。これも原則です。「競技力向上を目指す活動」を行う場合は「親しむ活動」も行うこと。先ほども言いましたが、練習試合とかをやるとしても必ずそういう志向でない子もいるので、その子たちのために主として親しむというのをやっているの、そういう活動をやる時も必ず開いて下さいということにしています。ただし、下の原則についてのところで、クラブの参加者数とか指導者数で開けない場合、むしろ参加者が全員練習試合に行くのに開いてもしょうがない場合もあるので、そういった場合は開かない場合もありますが、基本は競技力向上をやる場合も「親しむ活動」は開いて下さいということです。今も現状各クラブでやってもらっているのですが、例えば同時に開催する場合がありますし、午前午後に分けてやる場合もありますが、両方確保して頂くようにしています。

③番、保険関係です。立ち上げた当初は町内の活動のみにしてください、町外には出られませんという状況だったのですが、保険会社の方と折り合いを付けまして、今は活動場所に関わらず適用できる様になりました。ですが、保証できるのは会員および指導者のみとしたいと思います。

④番、相手を招く場合の会場は普段活動している枠で開催して下さい。急に、他の学校でやりたいとなっても、鍵の問題が直ぐに対応できないので、基本は通常の活動の枠でやって下さい。その代わりに、先ほど言ったように午前と午後とか同じ学校内でずらすのは可能です。

⑤番です。地域クラブ会員が0人の場合は活動不可です。今はアプリで事前に出欠が取れるようになったので余程分かるのですが、例えば相手を呼んで練習試合をやりました。当日になったら地域クラブの会員が0でした。しょうがないから相手の練習場所にして下さい、というのはなしにして下さいねということで、必ず相手にも0人になってしまった

場合はできないこと了承を得てやって下さいという条件にしたいと思
います。

⑥番は、必ず周知のために活動日の報告、毎月代表者さんに15日まで
に次の月の予定を出して頂いているのですが、そこまでに事務局に詳細
を伝えて下さいね、それで20日にカレンダー機能にアップするのです
が、そこでちゃんとアップして皆に周知できるようにして下さいねとい
う条件です。

⑦番、参加料が必要な場合は会員から徴収します。別途、団体の登録
が必要な大会等については現時点ではまだ参加できません。団体の登録
料がないものですから、それはなしで考えて下さいというものです。

最後⑧番です。大会等の案内把握について、学校の先生方に協力を頂
いて、今学校で出ている大会の一覧をまとめてあります。まだ、学校が
出ている大会の案内は全部学校に行ってしまうので、地域クラブの指導
者さんがなかなか細かい案内を見ることができない状況です。学校にご
協力頂けるのであれば、こういったファイルを、今学校から教育委員会
にこういったファイルで送って頂いているのですが、スポーツ課用にこ
ういったファイルを学校に置いてもらって、学校に案内が届いたらコピ
ーをこれに入れて送って頂きたいと考えています。そうしたら私の方で
指導者の方に直ぐにこういうのがきていますということを伝えます。そ
して、会員とか指導者に見せて是非出たいという話だったら出ていくと
いう形をつくっていきたいと考えています。以上が条件となります。

裏面も続けて行きます、45ページです。実際に各クラブの競技力向上
を目指した活動の方針・現状をまとめました。サッカーにおいては、今
会員が少ないのでまず会員の増加を目指していきたいと考えています。
最近2年生の子が入って来てくれたので、その子を中心に入ってくれた
らいいなと思います。よって、その下の練習試合や交流会等の取り組み
のところですが、中学生の相手と呼ぶとなると、こちらもちろんと人数
がいけないといけないので、他世代とかに混ぜて合同練習とかするよう
なことを検討してくれています。1番下のその他のところですが、東浦
町がFC刈谷というチームとパートナーシップ協定を組んでいるので、
今そこと打ち合わせをしており、FC刈谷のコーチや選手が指導者とし
て定期的に来てくれると今前向きに言ってくれているので、それらも取
り入れながら宣伝して会員を増やしていけたらな、というのがサッカー
の状況です。

バスケットボールに関しては、競技力向上の意向はあります。今現在
も練習試合とか交流会については月に1、2回程度、他の地区の中学生
と練習試合とか実施しています。大会の参加予定としては、3月にスポ

	<p>一ツ協会のうのはな杯というがあるので、そこに参加できたらなと話合っています。町外の大会についてもニーズに合うものであれば出ていきます。最後にチーム登録が必要ない大会を中心に検討しています。バスケはチーム登録に15,000円かかるみたいで、それで大会が1つか2つということなので、それ以外の大会に出ていくと聞いています。</p> <p>ハンドボールです。ハンドボールも競技力向上を目指す意向があります。今、ハンドボールも不定期で午後から競技力向上を目指す活動をしてきています。また、他のクラブチームと合同練習などもやってくれています。参加予定の大会としては1月に1年生大会というのがあるようですが、それは多分学校から出ると思うのですが、そこに出られたらなという話をしています。あと来年の半田祭とかも出たいなという声を聞いています。町外の大会も意向ありです。ですが、1年生がものすごく一気に増えていてすごく充実していて、1年生がメインになっているので気にする必要があると言っています。</p> <p>剣道です。剣道も競技力向上の意向はあります。練習試合等もスポーツ協会等が主催している練成会とかに今までも2回参加しています。大人から小学生まで練習するような会で、今月も参加します。また、東浦高校の剣道部との交流会等も行っています。10月にスポーツ協会が開いた大会に、すでに参加しました。団体ではなく個人で参加しました。町外にも出る意向はあります。今後人数が増えれば団体戦とかも考えていきたいとのことでした。</p> <p>柔道です。柔道も競技力向上の活動をやる意向はあります。練習試合等は未定で、11月に秋季大会に出場する予定になっています。町外の大会は未定です。懸念点としては、柔道の指導者は元保護者の方が多くて、あまり専門家というより中学生をサポートしてあげたい、活動の場をサポートしてあげたいという方が多いので、技術向上できる指導者がほしいという声を聞いています。</p> <p>軟式野球です。軟式野球は、競技力向上を目指す活動については、とりあえず練習試合というものをまず実施したいと考えています。まだ1回もやってないですが、実施したいというふうに聞いています。練習試合とかは成人チームを対象にしたり、高校に合同練習に行ったりしようと動き始めてきています。大会参加等は未定です。その他のところで、指導者が10人程いるのですが、すでにチームを持っている方が多くてチーム運営に掛ける時間がなかなかない、競技力向上をやるのだったらひがしうら地域クラブ専門で中心になってくれる人がほしいという声を聞いています。</p>
--	--

	<p>バレーボールです。バレーボールも意向はあります。小学校との交流会などを行っています。今後は中学生とも練習試合等をやりたいという意向を聞いています。現在、参加予定の大会の見当はついていません。指導者は大会のことをよく知っているのですが、中学生用の大会というのがなくて、ほとんど一般男子と一緒にになってしまうそうです。今の競技レベルだとなかなかきついという話なので、学校から頂ける大会案内を見て、いいなと思ったら出ていきたいと話しています。</p> <p>卓球です。卓球も意向はあります。練習試合等は未定なのですが、11月に地域クラブとして初めて町外の大会に出ます。東海市民卓球大会、今回は制限があったので7名選抜して出ていきたいと思います。また、1月の町内の卓球大会は制限がなく全員出れるので、今回は出たいと言った子が人数が多くて出られないということがあったので、町内の誰でも出られる大会に皆出してあげたいと思っています。</p>
事務局・・・	<p>吹奏楽です。吹奏楽は今のところ音楽活動を楽しんで継続することを目的としていまして、大会等への参加の意向はありません。その代わりに練習試合、交流会等の取り組みのところで書いていますが、地域で行われるイベントですとか行政のイベントの方で、発表の場を提供していければと考えています。今年度も11月の森岡小フェスタで演奏させて頂いたり、11月25日は行政のイベントですが「まなびっこひがしうら2024」の方で発表したりする予定です。現時点での大会の参加予定はありません、未定となっています。その他として書かせて頂きましたが、指導者の中には学生も多いので、大会参加という事で生徒を引率してというのはなかなか荷が重いというのが現状です。音楽的な技術的指導ができる指導者の確保というところもなかなか難しいという状況となっています。生徒からの希望を聞きながら地域のお祭りとか学校や行政のイベント等での発表を行っていただければと考えています。</p> <p>続きまして総合文化の方ですけれども、先ほども申し上げたとおり、まだ活動を始めたばかりなので、まずは「親しむ活動」の充実を図りまして参加者の確保に努めていきたいと考えています。</p>
事務局・・・	<p>1点補足します。卓球で初めて町外の大会に出ると言ったのですが、バスケットボールも12月に東海市の方に出て練習試合を行う予定です。</p>
会長・・・	<p>他の市町が同じような活動を始めれば、もう少し交流ができるので少し我慢だろうと思います。</p>

委員・・・	<p>アンケート見たら例えば38ページの真ん中だと、入会した目的の一番多いのは、38ページの(5)で今やっているものの補填とか、39ページの(7)だと、競技力の向上を目指した活動は必要ない0というのは、ひっくり返せばなにかやりたい、これは競技力の向上はやりたいのだなと思います。吹奏楽に競技力向上の意思がないところは、どうやって見ていってもらえばいいのかな。子供のことを見てねという感じだったのでまあ是非と思います。そのためにいろいろ案が出てきていますので、別紙2の、どれが団体登録が必要なのか是非調べて頂きたいです。サッカーはほとんど必要だと思います。あと分からないからバスケットボールとかバレーボールとか非常に複雑ですので、それは調べてもらってですが、ほとんど出て行けるのかなと思っています。それから「親しむ活動」と言っています、どれくらいそこを目指してここに来ている子がいるのかは、ここからは読み取れないので、そういう子もいるだろうけど、そうじゃない子の方が多いのではこのアンケートからは読み取れるので、そういったところは見ていくといいのかな、もちろん楽しむ子はいて、その指導者が必要だと理解したうえで話をしています。</p> <p>それから吹奏楽は是非やって下さい、ということです。子供が出たいとかじゃなくて、これそっちに向かうよって言えばもっと来ると思います。どっちが先かという話ですけど、それをやるかやらないか。あとソフトテニスはどうなったのかな、やるよやるよと言っていて、物が無いから西中の場所を使ってやれるといいのではないかなということです。</p> <p>それから今度の1月の入学説明会では話をしていきます、もう学校からは出ないよ。それはもう1年前に言ったことだから、是非来年の夏以降は地域クラブで1チーム、吹奏楽はできれば各学校がいいと思うのですが、町のクラブチームから大会に出るよと、それを言おうかなと思っています。だから、あなたたちはそこに行かないと試合に出られないと、または自分でどこか見つけてと。これは1年前に言いましたし、保護者にも子供にも言っていますので確実に言います。一緒にやっているといいなというところで、なかなか平行線だったと思いますけど、是非お願いします。あと、教員の兼職・兼業はずっとダメと言っているけど、理由がないからとても学校では説明しにくいです。時間さえ抑えられれば教員の兼職・兼業はやれると、もちろん30時間とか45時間以内にならない教員はダメなのですが、抑えたらやれるのに東浦の地域クラブは教員を使わないぞと言っているところがまだ分からないです。それは保護者にも言うよというよりもいいよと言ってもらえると。法的にも問題ないし、頑なでなく何か案が出てくるといいのかなと。500万円ももらえと言ったけど、そんなのをあてにしていると永久に続きませんの</p>
-------	--

	<p>で、500万円は物とかとりあえず登録費がないなら登録費とかそういうものに充てて、その内知らずの内に会費を上げる。3000円と言った根拠が分からないのですが、3000円なら3000円の根拠をつくって、自分たちには根拠があるから。教員から見れば、3000円分教員がただで働いていたという、これは出せるので数字でも。そういう話をして行ってもいいのではないかな。それから、テレビで土日は部活はやっていませんと言ったからそのとおり進んでいると思います。私見ましたので、だから切り取られますので。でも、テレビで放映されたということは、東浦は土日は部活をやっていないと思いますので、あれはテレビが切り取ったというのでなく、そのとおり学校は来年から土日はやらない。今はまだやっています。そこはやっていって下さいね。</p>
事務局・・・	<p>否定する訳ではないのですが、YouTubeで上がっているのは途中で終わっていて、本当の放送だとその後に大会の説明が報道では流れました。</p>
会長・・・	<p>今のは非常に大事なことで、過渡期ですので、その条件整備を間違えないようにしていきましょう。他市町との交流は、行政にもあると思うので、他市町の様子をよく把握して上手くいけるといいなと思っています。</p>
委員・・・	<p>兼職・兼業について現時点ではどういう見解なのでしょうか。ダメだということだけなのですか。方向としては、どういう方向で解決していくのか解決しないのかそのままなのか。その辺が分かるようにお願いします。もう1点、44ページのところでプラスと書いてあるのですが、これは倍になるという意味ですか。それとも6名という意味ですか。</p>
事務局・・・	<p>今まで活動を3名まででやっていました。それに、プラスで競技力向上に向けた活動をやるよという場合は3名分増やすということです。</p>
委員・・・	<p>6名参加できるという意味ですか。理解できていません。</p>
事務局・・・	<p>全体で言うと6名、親しむ活動で3名と競技力向上で3名が基本の形です。</p>
委員・・・	<p>ある日は6名で指導できるということですか。</p>

事務局・・・	<p>親しむ活動に3名で競技力向上に3名、ただ原則にした部分は、大会運営は3名では無理な場合もあるので相談しながらやっていきます。例えば、大会に出るためにこういう練習をしなければいけないよということがあった場合に、2チームあって3名では無理だと、そういう場合に相談してもらったらそこは柔軟に対応していきます。基本の形として、親しむ活動に今までの3名、競技力向上をやる時に3名だと認識してもらえればと思います。</p>
委員・・・	<p>それは現実問題として子供に聞くのですか。わかり易く言うと、吹奏楽が大会に出ますと言った時には何人ですか。3人ですか6人ですか。</p>
事務局・・・	<p>大会に出る当日の引率は3名ですが、それでは難しいという話があれば相談してもらおうということです。</p>
委員・・・	<p>普段の練習は子供に聞くのですか。今日、競技力向上の人、楽しくやりたい人と聞いてやるのですか。</p>
事務局・・・	<p>それは難しいので、先ほど述べたとおり、基本の競技力向上は対戦相手がいる時と決めています。</p>
委員・・・	<p>普段の活動は。</p>
事務局・・・	<p>普段は親しむ活動です。</p>
委員・・・	<p>1回整理しましょう。 例えば吹奏楽が15人いました。大会に出ます。それに10人参加して5人残るという場合は、大会に出る10人に3名の指導者、残った5人に3人指導者がつけるということですよ。</p>
事務局・・・	<p>はい、そういうことです。</p>
委員・・・	<p>そういうことですね。15人が全員大会に出たら3人ですね。ただし、大会の運営で難しいようであれば相談して下さいという話ですね。</p>
事務局・・・	<p>そうです。</p>

委員・・・	<p>普段、大会で決まるじゃないですか。大会に出たい人と聞くのですか。聞くと思うのですが、そうするとそのためにこの練習があるのだよ、というのが流れじゃないかと思うのですが、試合があるからこの日大会に出たい人はおいでよという感じですか。</p>
事務局・・・	<p>今練習試合などをやっているバスケットボールとかは、専用練習を行っていないので、そのスタイルです。</p>
委員・・・	<p>これからの話なのですけど。これからは、その大会に向けて練習をする場合も出てくると思うので、それを想定してこのルールでない方法も出てくると思うので、今のルールと違う動きをするかも知れない。先のアンケートを見るとそうじゃないのではないかという話なので、考えてください。</p>
事務局・・・	<p>そのために先ほど、このルールでは運営が難しい場合もあるため原則として、必要に応じて相談してほしいと説明しました。それについてむやみにダメですよとはしません。要相談しながら詰めていきたいと思っています。</p>
委員・・・	<p>難しいことです。私の知り合いにも試合には出たくないけど練習はしたい子もいるので、その受け皿ということで認識しています。100人いて100人とも試合、大会に出たい訳ではないから、大会に出た時に大会に出たくない人がいるのなら、その受け皿として通常活動で練習しますという認識でいいですね。</p>
事務局・・・	<p>そうです。柔道などでは絶対に大会に出ないという子もいる状況です。それで今度、柔道の大会に出るのですけど、その子が通常活動に来たいと言ったら開いてあげます。</p>
委員・・・	<p>これは昔からそういう問題はあって、生涯スポーツで体を動かしたくて来ている人がいるのに、そうではなくてガチガチにやるばかりで、潰れていった子がたくさんいると思います。</p>
事務局・・・	<p>今度、卓球も東海市の大会に出るのですけど、大会出るよと言ったら出たいという子より出ないという子の方が多かったです。よって、今度大会に3名で引率するのですが、東中でも普通の活動をやります。出たいと言ったのは8名、出ないと言ったのが20名くらいです。</p>

会長・・・	「競技力向上を目指す活動」の指導者というのは、特別に資格がいるのかどうかを知りたいです。
事務局・・・	いや、今の地域クラブの指導者の方にやって頂きますので、資格は必要としていません。大会がそういう指導者でないとダメという制限があれば、その大会は出られないのですが、基本的には今の指導者の中でやって頂きます。
委員・・・	実態は変わらないというわけですね。
事務局・・・	変わらないです。
委員・・・	ふと思ったのですが、地域クラブというのはスポーツ系と文化系では予算が違うのですか。
事務局・・・	はい、違います。国もスポーツと文化で庁が違います。
委員・・・	スポーツ系はスポーツ課が予算を作って、生涯学習が文化系の予算を作っているのですね。だけど、指導者の扱いは同じような考えを一つ決めましょうと。
事務局・・・	違う部分はあるので、原則で対応していくしかないのですが、同じ部分は合わせてやっています。
委員・・・	分かりました。総合文化は費用対効果でいうと今非常に効率が悪いので、最初の説明は講師3名以内と聞いていましたが、実は文化系は予算で縛られているので、2人までとしています。だから活動によっては内容が一律ではないというのが現状であるので、予算として違うのかなと思っていました。文化系でも指導者が競技力向上、展示会に出すとか大会に出場するとかそういうことは可能だと思いますので、そういうふうにならなければいいなと思います。
事務局・・・	最初に頂いた質問についてです。協議会の委員の方や校長先生方から兼職・兼業の意見がたびたび出るので、その都度学校教育課で検討させて頂いておりますが、働き方改革の面から土日の部活動を行わないという方針で3中学校の校長先生方から聞いております。立場が教員から離れて地域クラブの指導者となっても、働き方改革の面からいきますと、

	<p>トータルで実数はどうしても増えてしまいます。もちろん、先ほど校長先生から話があった月 45 時間以内に納まればいいのではないかと、という声はあると思うのですが、ケースバイケースでも認めない、一律に教員が地域クラブには参加しないという現状の方針で行こうと考えています。</p>
委員・・・	<p>今の話はすり替わっています。</p>
事務局・・・	<p>教育長の判断として伝えてもらって構わないという許可を頂いておりますので、その都度教育委員会として現状の方針をお伝えしているのですけれども。</p>
委員・・・	<p>それは、東浦の地域クラブについて、東浦町の先生方は従事することはできない。東浦町に住んでいる先生はダメ、東海市の地域クラブだったらやってもいいわけですか。</p>
事務局・・・	<p>東海市教育委員会の方針によります。</p>
委員・・・	<p>違います。東浦町の教員の兼職・兼業の許可を出すのは、東浦町教育委員会です。</p>
事務局・・・	<p>東浦町で勤務している方のことですね。簡単に言えば、東浦町の職員が兼職・兼業をする場合、東浦の教育委員会に届け出します。その先生が東浦町内でやろうと町外でやろうとそれは関係ないことですね、届けることについては。</p>
委員・・・	<p>そこは報酬が問題になるということですか。要するにボランティアで講習会を受けて指導者として登録すると、実際には吹奏楽でも場合によっては4人参加することもあるのですが、1人は報酬なしということをやっている場合があるのですが、教員でもそれならよいのかということを知りたいです。報酬はなしでいいので、参加できるのかどうかという問題です。労働には当たらないと思うのですけれど。</p>
事務局・・・	<p>教育委員会から良いですというのはいえませんが。</p>
委員・・・	<p>ボランティアなら教員が地域クラブに入れるのかということですよ。</p>

事務局・・・	指導者にはなれないです。
委員・・・	地域クラブの指導者に、先生方はなれないということですね。
事務局・・・	はい、町内に勤務する教員であればそれは報酬に関係なく。
委員・・・	ボランティアでも指導者はやらせない。そもそも教員の先生方は対象外ということですね。これは町の職員も同じですか。
事務局・・・	役場の職員は違います。
委員・・・	学校の先生が土日休みで、地域クラブのお手伝いをするのもそれが仕事になるからダメという認識ですね。労務として入ってしまうから。
事務局・・・	はい、地域クラブの指導時間も在校時間に含めて報告するように国の手引きに書いてあります。
委員・・・	そうすると、11 ページに兼職・兼業と書いてあるのですが、どういうことですか。
事務局・・・	国は兼職・兼業をしてはいけないと言っていないです。東浦町の教育委員会が地域クラブには教員は入れませんとしているということです。国は兼職・兼業するために手引きを出しています。その手引きに、その労働時間は残業時間に含めなさいということが書いてあるということです。
委員・・・	あと一つ、来年の夏の大会が終わった後は、地域クラブから大会に出られるよ、はいいですね。
事務局・・・	各クラブで出られる状態であれば出ていきますが、全部出るということではありません。
委員・・・	今ないのは、テニスと水泳なのか。中学校の部活にあってないというのがそれかなと。要するに子供たちや親にもはっきり言ってあげなければならぬので、こうやって東浦の地域クラブは立ち上がりました。これだけ種目があります。いろいろな条件はありますが、そこから試合に出られます。だから試合に出たい子は入りなよ。とっても簡単に言わな

	いと親も子も分からないから、これはもちろん吹奏楽も入っていますので。そういう話をしようとして中学校は考えています、入学説明会で。じゃないとどうなるのとずっと言われるので。
事務局・・・	地域クラブは親しむことがメインで、大会のためにあるクラブではないので、もちろん子どもたちや指導者のニーズ等が合致していれば出ることを検討しますが、それありきで言われるのは困ります。
委員・・・	そんな細かいことではなくシンプルに出れるよ、そこに入らない限りは出れないよ、という話だからそういう話をします。
事務局・・・	地域のクラブチーム等からも出場できますので、「ひがしうら地域クラブ」からしか出れない、ひがしうら地域クラブから確実に出るという誤解はないようにして頂きたいです。
委員・・・	それは分かっていると思います。
事務局・・・	このA3版の一覧表の大会に全て出るということではありませんので。
委員・・・	これは、先に言ったように団体登録が必要なもの以外は大会に出られるという認識で良いですね。団体登録も先に言ったように500万円もらえるなら、してくれという話なので、500万円がなくなるまでに登録できる金を考えていけばいいのだから、500万円か分からないけど、来年か再来年くらいはもらえるから来年もそれでやれるといいなど、500万円もあるのだから、この500万円を謝金に使っていたら終わった後成り立ちませんので。そういうところでやってもらえるといいと思います。そういう話を具体的にしてあげないとダメだと思います。
事務局・・・	大会ありきのクラブではありませんので、クラブによって状況が整っていれば大会への出場も行っていくということです。絶対に出るということでもありません。
会長・・・	難しい問題です。これからみんな克服をしていかないといけない問題だから、今を整備して次回にきちっとやらないと。他市町も同じ事だから。
	次の消耗品についてお願いします。

事務局・・・	<p>別紙3です。補助金は先ほど言いましたが、競技力向上のための謝金・指導者の報酬にも使うのですが、委員からあるように折角の機会なので、物も今揃えておくべきと考えているので、別紙3のとおり、今120万円を付けています。ただ今年しかないなので、すぐ使って壊れてしまう物でなく、一回買ったらずっと使えるような物を中心に、そして大会に参加したり練習試合を運営したりするために必要な物を中心に購入を進めて行きたいと思っています。ここに書いてある物を必ず買うというのではなく、120万円をもらうために私が考えて作ったもので、必ず指導者と相談をして一番有効な物を購入していきたいと思っています。今年中にできる限り地域クラブ専用の道具を揃えるために使っていきたいと思っています。</p>
事務局・・・	<p>続いて最後です。5の卒業生の扱いについて、地域クラブは去年から始まり、今年本格的に地域クラブの卒業生が生まれます。現状、部活動を引退した後も予想以上に30名くらいの3年生が残って参加してくれています。そして、下の括弧の3年生の声というところで「中学校を卒業しても、後輩たちのサポートなどで地域クラブに関わりたい」と言っている子がいるよ、という声を私も聞きました。現状の方針が、安全性を確保するために認定指導者以外は関わってはいけません、その場に入ってもいけませんとしています。部活動のOBなども来てはいけませんよ、というふうにしています。また、認定指導者は18才以上としているので、高校生は関われない。つまり中学生は活動できる、18才になったら指導者になれる、この間の高校生がどこにも該当できないという状態になっています。よって検討事項ですが、案として地域クラブの卒業生に限っては、サポートとして卒業した後も参加を認めてはどうかと考えています。生涯学習の観点、先ほど言ったように切れ目なく大人になるまで続けてほしいと考えると、高校生で切れてしまうのは問題だなという部分と持続可能な運営という面で、高校生で関わった子が18才になったら指導者として帰ってきてくれたらいいなという観点も含めて、有効ではないかなと考えています。条件は、下に記載のとおり、あくまでもサポートで中学生が主役、指導・サポートで参加すること。参加する際には、必ず指導者の許可を得て参加すること。高校を卒業して継続して参加したい場合は認定指導者になること、という条件で認めて行ったらどうかと考えています。懸念点としては保険の面があります。しかし、町のふれあい保険は怪我が出れば出るほど金額が上がってしまうので、今は会員と指導者しか認めませんが、そういう場合に限っては適用</p>

委員・・・	<p>して保障できるので、問題ないと考えています。ご意見頂きたいと思います。</p> <p>今の件について、将来的には高校生もこういう形になるので、参加料さえ払えば指導者にわざわざならなくても、参加できるようにしてはどうでしょうか。楽しむというのは生涯スポーツ、生涯学習でしょう。だから高校生でも月1,000円出せば、今は会員になっていけばいいのでは。</p>
事務局・・・	<p>そうですね。本来は地域クラブは中学生に限定するべきではないと考えています。先ほどの国の方針にも、高齢者も入れていくようにとあったと思います。しかし、今は森と川スポーツクラブもあるので、中学生限定としていますが、小学生だったり上だったりを拡げるとするのは構想の中にはもちろんあります。</p> <p>最後に指導者講習会についてです。これは紹介になりますが、今言った競技力向上をこれから目指していくと、先ほど言った指導者がほしいなという声もあるので、また2月2日に、第2回の講習会を予定しておりますので、ここに向けて指導者の補充・拡充をしていきたいと思えます。以上です。</p>
会長・・・	<p>以後、この会は続きますか。次回の予定は。</p>
事務局・・・	<p>次回は、1月の終わりごろに予定をしたいと思っています。また、日程の方調整させて頂きたいと思えます。よろしく願いいたします。</p> <p>以上です。</p>

閉会

午後9時00分

会議録作成者 「ひがしうら地域クラブ」推進協議会事務局